

米国経済・株式市場情報

# コロナ禍後を見据えた物色が続く

## 経済活動の正常化による業績の変化率に着目した投資が活発化

- 足元の米株式市場は、景気回復や物価上昇見通し等を背景に、バリュー株（割安株）優位の展開となっている。
- コロナワクチンの接種加速や、バイデン政権のインフラ投資計画の具体化等で、景気回復期待が一段と高まる可能性もある。当面はバリュー株優位の展開が続くものと思われる。

### (1) 米株式市場の物色動向

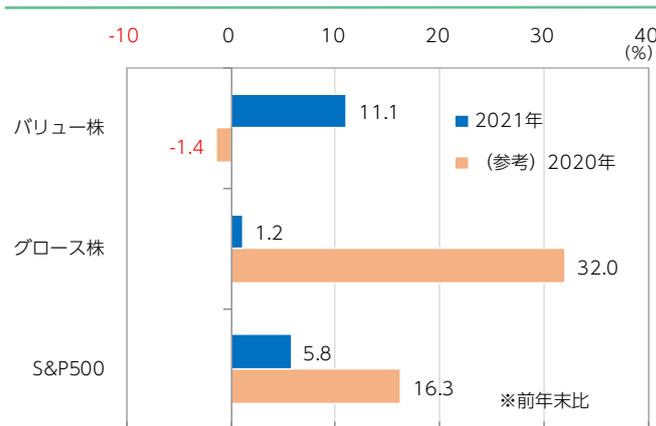
- 2020年は、コロナ禍が蔓延する中でも高成長が期待できるIT（情報技術）や通信株等が多く含まれるグロース株（成長株）が、エネルギーや金融株等が多く含まれるバリュー株（割安株）を大きくアウトパフォームしました。しかし、2021年（3月26日時点）はバリュー株優位の展開となっています（図表1）。新型コロナウイルスワクチンの接種普及やバイデン政権の追加経済対策等を背景とする景気回復を見据えた銘柄選別の動きが影響しているものと思われます。
- セクター別では、2020年に37.3%値下がりし、下落率トップとなったエネルギーが、2021年に入り、景気回復による需要回復期待等を背景に上昇率トップとなっています。その他、金利上昇で貸出し利ザヤの改善が期待される金融、空運や鉄鋼等が含まれる資本財が上昇率の上位に並んでいます。一方、景気変動の影響を相対的に受けにくいとされる公益、生活必需品、IT（2020年に42.2%上昇しグロース株をけん引）は小幅な上昇に止まっています（図表2）。

### (2) 当面バリュー株指数優位の展開か

- バリュー株の2021、22年のEPS（1株当たり利益）の伸びは、コロナ禍により2020年の落ち込みが大きかったこと等も影響し、グロース株を上回ると予想されています（図表3）。
- バイデン米大統領は3月25日の記者会見で、就任100日後の4月末までのワクチンの接種目標を2億回と、これまでの2倍に引き上げました。ワクチン接種のスピードアップや同大統領が公約に掲げるインフラ投資計画の具体化等を背景に、景気回復が勢いを増し、バリュー株のEPSが上方修正される期待が高まることも想定されます。業績の変化等に着目した投資が活気づき、当面はバリュー株優位の展開が続くものと思われます。

注) バリュー株、グロース株、各セクター指数は全てS&P500指数ベース出所) 図表1~3はブルームバーグデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

図表1：バリュー株とグロース株の騰落率



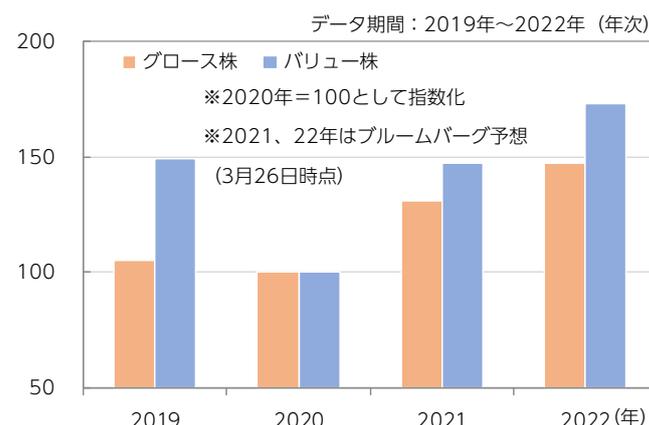
※2021年は3月26日時点

図表2：2021年主要セクター指数の騰落率



※3月26日時点 ※GICS11業種分類

図表3：予想EPS比較



## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>